

小学しょうがく五年生ごねんせい 九月くがつまでの漢字かんじ

★とめ、はね、はらい、字形じけいに気きをつけて、正ただしくていねいに書かいたり、
読よんだりできるようにしておきましよう。

応用おうよう問題を解とく。

往復おうふくはがきの画が像ぞう。

強つよい力りき士しが格下かくしたに負まける。

会かい議ぎの資し料りょう準じゆん備び。

天てん気き予よ報ほうを設せ定ていする。

建けん設せつ現げん場ばは立たち入いり禁きん止しだ。

在ざい校こう生せいの総そう数すう。

非ひ常じょうに態たい度どが良よい。

付ふ属ぞくの部ぶ品ひんを製せい造ぞうする。

防ぼう災さいの知ち識しき。

美うつくしい運うん河がの景け色しき。

鉾こう山ざんで働はたらくことに起き因いんする。

常つねに順じゆん序じよを守まもる。

準じゆん決けつ勝しょうに興こうふんする。

長ながい航こう海かいを続つづける。

略りやく図ずをかく技ぎ術じゆつ。

現げん在ざいの正せい確かくな人にん数ずう。

直ちやく接せつ的てきな意い見けんを述のべる。

月つきが現あらわれた状じょう態たい。

外がい出しゆつの許き可よ申かせしんい。

貿ぼう易えきの仕し事ごとを任まかせる。

清せい潔けつな衣い服ふく。

豊ゆたかな表ひょう情じょうの演えん者じや。

銅どう板ばんを両りょう手てで支さえる。

修しゆ学がく旅りよ行こうの報ほう告こく。

朝ちよう刊かんを讀よみ絶ぜつ句くする。

飼しい育いく員いんにかさを貸かす。

意い見けんを述のべる。

野や球きゅうの守し備びを任まかせる。

出しゆつ場じょうの停てい止しが確かく定ていした。

直ただちに家いえに帰かえる。

文ぶん章しょうの構こう成せいへの質しつ問もん。

分ぶん厚あつい辞じ書しょを移い動どうさせる。

暴ぼう風ふう雨うの兆ちよう候こう。

留りゆう学がく生せいが金きん賞しょうをとる。

酸さん性せい雨うと台たい風ふうに備そなえる。

新しん聞ぶんの広こう告こく素そ材ざい。

開かい花かに適てき切せつな温おん度ど。

適てき度どな店みせを構かまえる。

桜さくらに肥ひり料りょうをまく。

電でん化か製せい品ひんを檢けん査さする。

飲いん食しょく可かの能のうな会かい場じょうを設もうける。

印いん象しょうに残のこる情じょう景けい。

実じつ際さいの様よう子すに似にる。

研けん究きゆうの实じつ績せきを賞しょうする。

星ほしの観かん測そく記き録ろく。

複ふく数すうの意い見けんを得える。

苦く勞ろうして学がく問もんを修おさめる。

駅えき舎しゃが混こん雑ざつする。

武ぶ士しの刀かたなを修しゆ復ふくする。

新しん幹かん線せんの駅えきを通つう過かする。